



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校

校長 村嶋 博史

R6,3,5 No,24



八代小ホームページ

八代型「小中一貫・連携教育」実践校 実践発表会

1月30日(火)午後から、「八代型『小中一貫・連携教育』実践校実践発表会」として、八代第一中学校区の中学校1校と小学校3校で、授業と今年度の取組の説明(オンライン)を公開しました。

八代小学校会場では、八代市内外から約50人の教職員を迎え、2年生の道徳科の授業「あいさつパワー」と「つなぎ部会」(本校担当)の取組について公開しました。

道徳科の授業では、子供たちは「人との関わりにおいて、どんな振る舞い(挨拶)が好ましいか」について、教材「あいさつがきらいな王様」を基に自分の考えを明らかにしました。そして、その後その考えを友達と交流し、共感したり、新たな考えに触れたりしました。授業週末のロールプレイで、参観者へ笑顔で挨拶する子供たちの姿から、「あいさつパワー」(挨拶の良さや必要性など)について感じ取った様子がうかがえました。



熊本県社会科研究大会(八代大会)を開催しました

2月8日(木)、熊本県小学校社会科研究大会(八代大会)を本校で終日開催しました。当日は、県内各地から多くの教職員を迎え、授業研究会や講演会を行いました。

公開授業では、3年2組、4年1組、5年1組、6年2組の4学級で行いました。どの学級の子供たちも積極的に意見を発表したり、懸命に考えたりと、とても意欲的に学んでいました。その姿に多くの参加者から賞賛の言葉が聞かれました。

その後、授業研究会、県内各地の実践の提案、講演会と続き、今後の社会科の授業づくりに大変参考になる研究大会でした。今回学んだことは、必ず子供たちに還元していきます。



今年度最後の全校集会(オンライン)を行いました

2月21日(水)、全校集会を行いました。今回の校長講話は、動画や写真を使うため、オンラインで実施しました。

講話では、「心は誰にも見えないけれど、心づかいは見える」「思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える」という、宮澤章二作「行為の意味」という詩の一部を取り上げ、子供たちに、もっている優しい心や温かい思いを積極的に表現する(心や思いをカタチにする)ことが大切であること。また、相手にした良い行為は、後に自分に返ってくるなどについて伝えました。心や思いをカタチにした「心づかい」や「思いやり」を大切にして生活してほしいと思います。



3学期の授業参観・学級懇談会を行いました

2月22日(木)、今年度最後の授業参観・学級懇談会を行いました。どの学級の子供たちも、この一年間で成長した姿を保護者の方々に見てもらおうと精一杯頑張っていました。

この頑張りを残り十数日となった現学年でのまとめの学習でも発揮し、確かな学力を身につけ、進級・進学してほしいと思っています。

保護者の皆様には、ご多用の中、授業参観及び学級懇談会へお出でいただき、誠にありがとうございました。



※学校HPに、本紙のカラー版を掲載していますのでご覧ください